

第四期中期目標の期間：令和5年度から令和10年度までの6年間

東京都公立大学法人の普遍的な目標

2大学1高専は、「都立」の高等教育機関として、都が有する資源を最大限活用し、次代の東京を担う人材育成、大都市課題解決に繋がる研究を推進するとともに、その成果を都民や地域社会に還元し、更には世界へと波及させる

第四期中期目標策定に当たっての基本的な考え方

<視点>

● 変化への対応

感染症、DX、グローバル化など社会構造の変容が急激に進む中、変化への適応に加え、時代の先を読んだ取組が必要

● 連携・協働

脱炭素など行政、企業、市民等の個の力では立ち行かない課題の発生に伴う、各ステークホルダーから大学への期待の高まり

● グループ経営の強化

これまでも各校の強みや特色を発揮してきたが、より強いシナジーを生み出すため、グループとして一体的な経営が必要

(取組例)

加速的に変化する社会で柔軟に対応し、活躍できる人材の育成・輩出

- デジタル社会の発展を担う人材の育成に資する教育プログラムの展開
- 各校の教育研究資源を生かし、社会人のスキルや知識のアップデートを支援
- 優れた国際感覚を涵養する教育・交流機会の提供

持続可能な社会の実現に貢献するため、多彩で高度な研究を推進

- 世界水準の研究を推進するため、研究力・研究環境を強化
- 東京都、他大学、企業等との連携を深め、社会課題の解決に資する研究を展開
- 組織的なバックアップによる外部資金の獲得拡大

2大学1高専のパフォーマンスを最大限に引き出す戦略的な法人経営

- 多様な事業を戦略的に推進するためのマネジメント体制を確立・強化
- 教育研究等を活性化する仕組みや環境を生み出すため、職員の企画提案力を向上
- 人材、財源、資産等のリソースの適切な確保及び効率的・効果的な運用

目標の構成案

- 都立の大学・高専としての役割や、「法人部門」が担う機能を明確化
- 社会的潮流（グローバル、DX、SDGs等）に対応した目標は、社会との共創・教育・研究（及び法人運営）の中に位置付け

第四期中期目標の構成（案）

前文		前文部分を整理
東京都公立大学法人の基本的な目標		
I 東京都立大学の教育研究等の質の向上	1 社会との共創	都立の高等教育機関として、都をはじめとした社会と共に価値を創造していくことを重視し、「社会との共創」を冒頭に設定
	2 教育	
	3 研究	
II 東京都立産業技術大学院大学の教育研究等の質の向上（※）		
III 東京都立産業技術高等専門学校 ¹ の教育研究等の質の向上（※）		
IV 法人運営		「法人部門」が主体となる目標であることを明確化
1 業務運営の改善及び効率化		
2 財務運営の改善		
3 評価及び情報の提供		
4 その他重要事項		

第三期中期目標の構成

前文	
中期目標の基本的な考え方 東京都公立大学法人の基本的な目標、重点目標	
I 東京都立大学の教育研究等の質の向上	
1 教育	(1)教育内容 (2)教育実施体制 (3)学生支援 (4)入学者選抜
2 研究	(1)研究水準及び研究成果 (2)研究実施体制
3 社会との連携や社会貢献	(1)都政との連携 (2)社会貢献等
4 グローバル化	
II 東京都立産業技術大学院大学の教育研究等の質の向上（※）	
III 東京都立産業技術高等専門学校 ¹ の教育研究等の質の向上（※）	
IV 業務運営の改善に関する目標	
V 財務運営の改善に関する目標	
VI 評価及び情報の提供に関する目標	
VII その他重要事項に関する目標	

※ II 産技大・III 産技高専も、Iと同様に、社会との共創・教育・研究（第三期は教育・研究・社会との連携や社会貢献・グローバル化）について記載

I 東京都立大学



【社会との共創】

- ・ **東京都等との連携を一層深め、都政課題解決に貢献** TMUサステナブル研究推進機構を通じたプロジェクト推進
- ・ **産学公連携を推進、大学発ベンチャー創出・SU支援を強化** 日野新棟のインキュベーション機能の活性化
- ・ **地域支援を推進** 地元自治体等と協働した社会実証やまちづくり等、地域振興事業への参画
- ・ **生涯学習を推進** プレミアム・カレッジ、オープンユニバーシティ
- ・ **ステークホルダーとの対話や協働の促進** 広報等を通じた広く愛される大学づくり、卒業生等との協働の活性化

【教育】

- ・ **都立の総合大学としての特長を生かした教育を展開** 東京都のリソースを活用した教育の実践
- ・ **社会ニーズを捉えた教育を展開** STEAM教育、データサイエンス教育、アントレプレナー教育、医療人材育成充実
- ・ **デジタル技術を活用** オンライン授業の効果的な運用、実習でのAR・VR技術導入
- ・ **グローバル人材育成、教育の国際化を推進** 大学院英語科目充実、秋入学導入、海外派遣・留学生受入れの促進
- ・ **社会人のスキル・知識のアップデートを支援** AI・データサイエンス教育プログラム、シニア教育の充実
- ・ **全学的な教学マネジメント体制による教育改善を推進** 教学IRの更なる活用、FD・SD活動の充実

【研究】

- ・ **世界水準の研究を推進** 若手研究者支援やトップ研究者招へいによる研究力強化、世界的な研究拠点の形成
- ・ **社会課題の解決につながる研究を推進** 企業や試験研究機関等との共同研究を促進
- ・ **研究成果を国内外に向けて積極的に発信** メディアの戦略的活用
- ・ **外部資金獲得を強化** URAを中心とした組織的支援の強化
- ・ **研究基盤・研究環境を充実** 電子リソース拡充、機器共用の効果的運用、ダイバーシティ推進

*細字は東京都が想定する主な取組（今後、法人が策定する中期計画において検討、具体化）

II 東京都立産業技術大学院大学



【社会との共創】

- ・ **都政課題解決や産業振興・地域振興に貢献** 中小企業への技術支援、自治体職員人材育成、多摩・島しょ地域支援
- ・ **教育研究成果を還元し、学び直しの機会を幅広く提供** AIITフォーラム等公開講座の充実

【教育】

- ・ **特色ある教育を一層充実** PBL型教育の発展・普及、学びやすい仕組みの充実、多様な社会人に向けた教育の推進
- ・ **全学的な教学マネジメントを推進** 教学IRの本格活用
- ・ **グローバルに活躍できる高度専門職業人を育成** グローバルPBLや海外大学等との交流の推進
- ・ **専門職大学院にふさわしい学生を確保** 情報発信強化、大学のブランディング推進

【研究】

- ・ **高度職業人材育成に資する研究や、産業振興に資する研究を推進** 大学や企業等との連携強化、外部資金獲得強化

III 東京都立産業技術高等専門学校



【社会との共創】

- ・ **地域と連携した社会人教育や未来のものづくり人材育成の推進** ICT・AI等分野の人材育成センターの設置
- ・ **高専発スタートアップの創出に向けた取組** スタートアップ講座等の実施、都・区や企業等との連携強化

【教育】

- ・ **東京の産業を支える実践的技術者を育成** AI・データサイエンス、情報セキュリティ、航空、医工連携
- ・ **環境教育を実施** SDGs時代の技術者に求められる知識や教養の修得
- ・ **世界で活躍できる技術者を育成** オンラインも活用した英語教育の充実、海外体験プログラムの拡充
- ・ **志願者確保のための取組を強化** 広報活動の充実、特別推薦入試の拡充、女子学生の一層の確保

【研究】

- ・ **ものづくりの発展に貢献する研究を推進** 若手教員育成や組織的な研究支援の充実、大学や企業等との連携強化

【業務運営の改善及び効率化】

- ・ **事業を戦略的に推進するためのマネジメントを強化** プロジェクト志向での業務運営の推進
- ・ **東京都との連携や、2大学1高専間の連携を一層促進** 連携コーディネート機能の充実
- ・ **人材確保・育成、業務改善等を推進** 教職員人事制度の戦略的運用・見直し、職員の企画提案力向上、働き方改革
- ・ **施設設備の更新等を通じ、教育研究等の環境を整備** 施設配置の最適化、機器共用の活性化
- ・ **内部統制を有効に機能させ、法人ガバナンスを強化** コンプライアンス、情報セキュリティ、危機管理の徹底

【財務運営の改善】

- ・ **自己収入を増加・多様化** 寄附金をはじめとした外部資金の獲得促進
- ・ **戦略的な財務運営を推進** 費用対効果の検証・分析を踏まえた予算編成・事業企画

【評価及び情報提供】

- ・ **法人評価制度（評価委員会）に基づき法人運営を不断に改善** PDCAサイクルの着実な実践
- ・ **法人及び2大学1高専のプレゼンスを向上** 法人全体としての戦略的な広報展開

【その他重要事項】

- ・ **気候変動危機に対する取組をはじめ、法人全体でSDGsを推進** 学生や教職員の積極的参画の促進

目標策定スケジュールについて

法人の第四期中期計画の検討作業とも連動しながら、令和4年6月の都議会での議決を経て、策定を目指す

今後のスケジュール（予定）

